

関連する『つまずきポイント』

- ③文や文章の構成・構造をとらえること
- ④文章の要旨・主題をとらえること

## 書くこと領域

文章の要旨・主題をとらえ、文や文章の構成・構造を考えて書きまとめること

に関するつまずき解消に向けた系統的な取組

### 加古川市立加古川小学校の実践

- |      |   |
|------|---|
| 第6学年 | 適切な資料を引用し、文章の構成を工夫して自分の考えを書くこと                  |
| 第5学年 | 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考え書きまとめること           |
| 第4学年 | 内容を項目ごとに整理し、接続語や指示語、文末表現を効果的に使って、自分の考えを書きまとめること |
| 第3学年 | 中心となる言葉や文を見つけ、書かれている内容を要約して書きまとめること             |
| 第2学年 | 自分の考えが相手に伝わるよう、順番に気を付けて書くこと                     |
| 第1学年 | 大事なところを見つけて文章を書きまとめること                          |

	身に付けさせたい力の系統	各段階におけるつまずき
<b>高学年</b> (5・6年)	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えることができる。	文章の構成の効果を考えて書くことができない。
<b>中学年</b> (3・4年)	事実と意見を整理し、段落相互の関係に注意して文章を構成することができる。	指示語や接続語、文末表現を適切に使用し、文章に書きまとめることが難しい。
<b>低学年</b> (1・2年)	大事なところを見つけながら、順序に注意して文章を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大事なところを見つけたり、自分の考えを明確にして書いたりすることが難しい。</li> <li>• 簡単な構成を考え、つながりのある文章を書くことが難しい。</li> </ul>

## つまずき解消に向けた取組の視点

- ① **作文の構成段階から協同学習を取り入れる。**  
→ 他者の考えと自己の考えを比べることで、自分の考えを深めることができるようになる。
- ② **書く活動の際に、基本的な文型や効果的な指示語、接続語、文末表現をおさえる。**  
→ 適切な文章構成を考えることができるようになる。
- ③ **書く視点を示した上で、ワークシートなどに書く内容を整理する。**  
→ 内容ごとにまとまりのある文章を書くことができるようになる。  
→ 考えさせたい視点に沿って、意見を交流し合うことができるようになる。

# 書くこと②

第1学年

大事なところを見つけて文章を書きまとめること

## つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

自分の考えを明確にして書くことができていない。

きゅうりときゃべつと  
とまとをきっておさ  
らにいれるよ。

トマトきゅうりときゃ  
べつこのサラダたべて  
げんきになってほしい  
なあ

大事な言葉を見つけることができない。

順序に注意して正しく書くことができていない。

## 実践の概要

単元名

サラダでげんき おしゃべりレシピをつくろう!

『サラダでげんき』東京書籍

目標 材料やその効果などの大事な言葉を入れ、順序に注意してサラダのレシピを書く。

- 内容
- ・マス目の数を意識しながら、大事な言葉を探し、書き込む。
  - ・順序に気を付けて読みを深めるために、登場する動物の順序が視覚的にわかる「一枚ワークシート」に書く。
  - ・りっちゃんと動物たちによってできたサラダに、自分も何を入れたらよいかを付け加えてサラダのレシピを作る。

## 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	町の未来をえがこう	資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。
第5学年	和の文化について調べよう	自分の考えを明確に伝えるために文章構成を考えているが、効果的ではない。
第4学年	わたしたちの生活とロボットについて考えよう	様々な角度から考え、内容を整理して書くことや接続語や指示語、文末表現を効果的に使って書くことができない。
第3学年	要約名人になってもうどう犬リーフレットを作ろう	中心となる言葉や文を見つけ、要約することができず、長い文を書き写してしまう。
第2学年	どうぶつのひみつをみんなでさがろう	見つけた大事な言葉を使って、順序よく書きまとめたり、不要な言葉を省いたりすることができていない。
第1学年	サラダでげんき おしゃべりレシピをつくろう!	大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

## 単元末の目指す姿

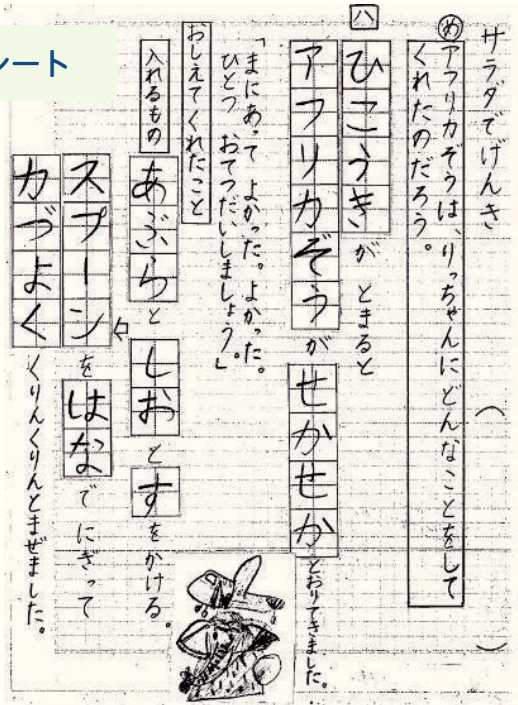
- ・本文の中から、大事な言葉を見つけられるようになる。
- ・自分の考えを明確にして、文章を書くことができるようになる。
- ・順序を意識しながら、本文を読み、文章に書きまとめられようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

マス目入りのワークシートを用いる。

活動のねらい ▶ 字数の条件を設定することで大事な言葉を見つけやすくなる。

マス目ワークシート



ここがポイント

国語の指導において、“本文に戻る”ことはとても重要である。1年生の段階から、授業展開に、字数をヒントに本文中の言葉を探させる学習を組み込むことで、一つ一つのことに着目する力を育む。また、自然に大事な言葉に導くことができるように文を精選している。

(期待される児童の姿)

マス目のワークシートを用い、字数の条件を設けることで、本文から大事な言葉を抜き出して書けるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

毎時間、本文の大事な言葉をヒントにしなが「一枚ワークシート」に書きまとめる活動を行う。

活動のねらい ▶ 登場人物になりきってふき出しに書かせることで、自分の考えを明確にして文を書くことができる。

一枚ワークシート



ここがポイント

登場人物の出でくる順に、毎時間1つずつふき出しを書く。それが、1枚のワークシート上で行われることで、順序が可視化される。また、1枚に書きまとめることで、教師も児童の「書く」力の変容を見取りやすくなる。

(期待される児童の姿)

登場人物になりきってふき出しにまとめることで、大事な言葉を用いながら自分の言葉で文が書けるようになる。

## 書くこと②

第2学年

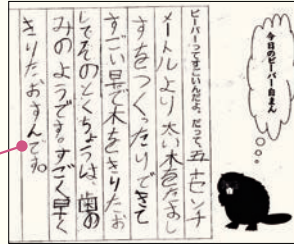
自分の考えが相手に伝わるよう、順番に気を付けて書くこと

### つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

見つけた大事な言葉を使って、順序よく書きまとめたり、不要な言葉を省いたりすることができていない。

同じ言葉を何度も使ったり、順序がばらばらになったりしている。



### 実践の概要

単元名

どうぶつのひみつをみんなでさぐる

『ビーバーの大工事』東京書籍

**目標** 大事なところに気を付けながら、文章を読んでわかったことや調べたことを順序よく書きまとめる。

**内容** ・本文から、ダム作りや巣作りについての順序立った説明の構成や内容について読み取る。

- ・大事な言葉や順番を表す“つなぐ言葉”を文中から見つけ、書きまとめる。
- ・読み取った内容から「問いかけの文」や「詳しい説明の文」を作り、出し合う。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	町の未来をえがこう	資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。
第5学年	和の文化について調べよう	自分の考えを明確に伝えるために文章構成を考えているが、効果的ではない。
第4学年	わたしたちの生活とロボットについて考えよう	様々な角度から考え、内容を整理して書くことや接続語や指示語、文末表現を効果的に使って書くことができない。
第3学年	要約名人になってもうどう犬リーフレットを作ろう	中心となる言葉や文を見つけて要約することができず、長い文を書き写してしまう。
第2学年	どうぶつのひみつをみんなでさぐる	見つけた大事な言葉を使って、順序よく書きまとめたり、不要な言葉を省いたりすることができていない。
第1学年	サラダでげんきおしゃべりレシピをつくろう!	大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

### 単元末の目指す姿

- ・本文中から大事な言葉を見つけ、順序を考え、簡単な接続語を使って書きまとめることができるようになる。
- ・読み取った内容をもとに、言葉を足したり削ったりして書きまとめることができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

鍵になる文や文章、各段落のつなぐ言葉、大事な言葉を手がかりに筆者の意図を読み取り、書きまとめる活動を行う。

活動のねらい▶ 本文のつなぐ言葉を手がかりに順序を考え、大事な言葉を使って書きまとめることができる。

ワークシート①

ここがポイント

書きまとめる文章中に、授業の中で最も筆者の意図を表しているキーワード（大事な言葉）を必ず入れるよう指導する。また、キーワードは、板書上にも大きく書いたり色分けしたりして可視化し、児童にわかりやすくする。

（期待される児童の姿）

大工事であることを読み取り、大事な言葉を見つけ、その言葉を使って順序よくまとめることができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

毎時間、本文の大事な言葉をヒントにしながらワークシートに書きまとめる活動を行う。

活動のねらい▶ 言葉を精選して、問いかけの文や説明の文を作ることができる。

ここがポイント

教師が児童一人一人の意図をくみ取り、できるだけ簡潔な問いの文に直せるよう個別指導で支援する。また、「～でしょうか。」「～からです。」等の文型指導もしっかり行い、ワークシート②を数多く活用することで書きぶりの定着を図る。

ワークシート②

①見つけたひみつにつながる文を書き出す。

②問いの文にする。

③答えの文と詳しい説明を書く。

（期待される児童の姿）

読み取ってまとめた文をもとに書かせることにより、大事な言葉を抜かさずに、クイズを作ることができるようになる。

# 第3学年

## 書くこと②

中心となる言葉や文を見つけ、書かれている内容を要約して書きまとめること

### つまずきの実態 ～こんな児童の姿が見られませんか？～

中心となる言葉や文を見つけて要約することができず、長い文を書き写してしまう。

してはいけないこと  
の具体例を書いてしまっている。

だ、仕事は、人にあ  
まえたり、じゃれた  
り、おいしそうなお  
いのする方に行こう  
としたりしてはいけ  
ません。さらに、ほ  
の犬がほえても、気  
しないこともひつよ  
です。

主語がない。

中心となる言葉や文  
を選択できない。

ど、おこつたり、ほえ  
たり、あばれたりし  
てはいけません。ま  
た、仕事は、人にあ  
まえたり、じゃれた  
り、おいしそうにお  
いのする方に行こう  
としたりしてはいけ  
ません。さらに、ほ  
の犬がほえても、気  
しないこともひつよ  
です。

### 実践の概要

単元名 要約名人になってもうどう犬リーフレットを作ろう  
『もうどう犬の訓練』東京書籍

- 目標 中心となる言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を要約して書きまとめる。
- 内容
- 主語と述語のつながり、段落の構成を考える。
  - 訓練について要約し、中心となる言葉を選択しリーフレットに書きまとめる。
  - でき上がったリーフレットを見せ合い交流する。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容（単元名）		つまずきの実態
第6学年	町の未来をえがこう	資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。
第5学年	和の文化について調べよう	自分の考えを明確に伝えるために文章構成を考えているが、効果的ではない。
第4学年	わたしたちの生活とロボットについて考えよう	様々な角度から考え、内容を整理して書くことや接続語や指示語、文末表現を効果的に使って書くことができない。
第3学年	要約名人になってもうどう犬リーフレットを作ろう	中心となる言葉や文を見つけて要約することができず、長い文を書き写してしまう。
第2学年	どうぶつのひみつをみんなでさがろう	見つけた大事な言葉を使って、順序よく書きまとめたり、不要な言葉を省いたりすることができていない。
第1学年	サラダでげんきおしゃべりレシピをつくろう！	大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

### 単元末の目指す姿

- 中心となる言葉や文を選択できるようになる。
- 文章の内容について、大筋や大切なことを整理してとらえることができるようになる。
- 主語と述語のつながりを考え、内容を要約して書きまとめることができるようになる。

つまづき解消に向けた指導の工夫

- 要約に必要な難易度別キーワードの中から、中心となる言葉を選択して書きまとめる。
- 主語と字数の定まったワークシートを使用して要約する活動を行う。

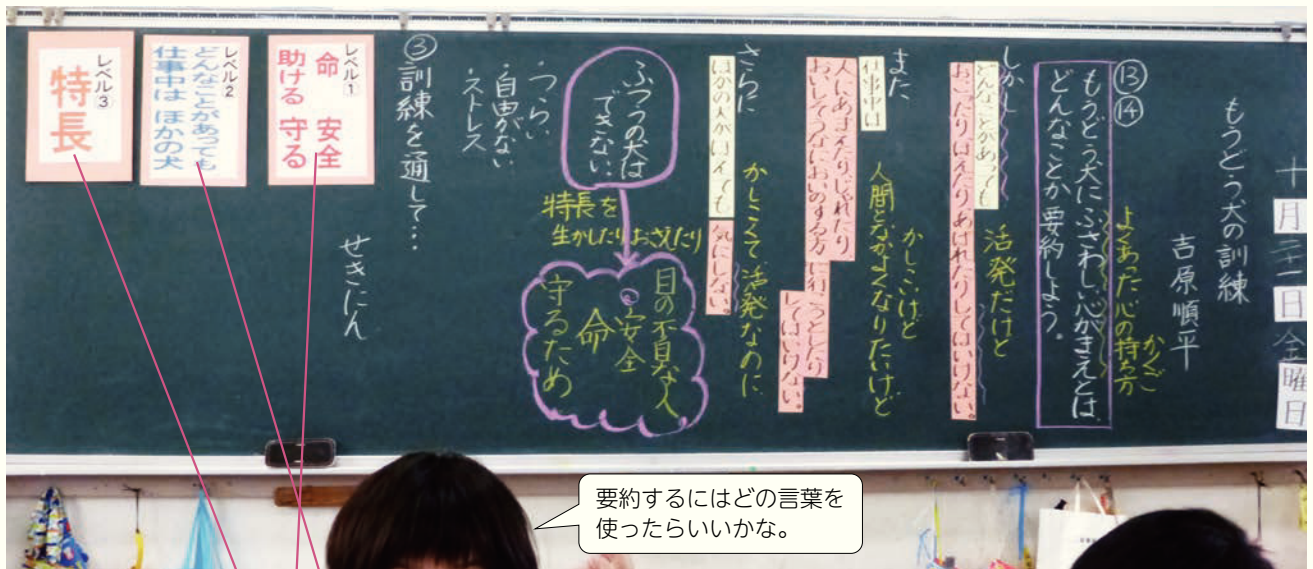
活動のねらい▶ 主語に適切に対応する述語を考え、制限字数内で収まるよう、大事な言葉を落とさないように必要な言葉を厳選して要約することができる。

ここがポイント

中心となる言葉を個人のレベルに応じて選択できるようにする。選べない児童には、担任の助言により適切なキーワードを選べるようにする。そうすることで、大切な内容を落とさず、焦点化して要約させることができる。また、主語を定めることで、対応する適切な述語も定まり、字数の制限があることで、言葉が厳選される。

授業の様子

〈キーワードを提示し選択させる〉



要約するにはどの言葉を使ったらいいかな。

(期待される児童の姿)

要約に必要な言葉をレベル分けして提示し、その中からキーワードを選択させることで、文章が書きにくい児童も意欲的に取り組むことができる。

(期待される児童の姿)

主語と述語のつながりを意識し、言葉を精選しながら要約できるようになる。

と	行	安	つ	て	町	わ	身	さ	
で	動	全	れ	も	で	し	も	に	訓
す	す	を	て	特	ど	い	う	つ	し
	る	一	い	長	ん	心	ど	け	い
	か	番	る	を	な	が	う	て	心
	く	に	人	お	こ	ま	犬	い	が
	ご	考	の	さ	と	え	に	き	ま
	の	え	命	え	が	と	ふ	ま	え
	こ	て	や	て	あ	は	さ	す	も

③ 訓練を通して...

主語と字数を定め言葉を精選させる



**第4学年**

**書くこと②**

内容を項目ごとに整理し、接続語や指示語、文末表現を効果的に使って、自分の考えを書きまとめること

**つまずきの実態**  
～こんな児童の姿が見られますか？～

様々な角度から考え、内容を整理して書くことや接続語や指示語、文末表現を効果的に使って書くことができない。

文末表現に「思います。」を多用している。

自由で、一人で歩けるようになったら、とてもうれしいと思います。いろいろな所に行ってみたくなくとも思います。

繰り返し、同じ表現を書き、指示語を使っていない。

必要なところで、接続語（「そして」等）が使えていない。

**実践の概要**

単元名

わたしたちの生活とロボットについて考えよう

『わたしの「ゆめのロボット」』東京書籍

**目標** 自分の「ゆめのロボット」について考えを整理し、説明文の形式で文章に書くことができる。

- 内容**
- 文章構成にどんな工夫があるか考える。
  - 効果的な接続語や指示語、文末表現に線を引く。
  - 「ゆめのロボット」の4項目について、ワークシートを活用しつつなぎ方を検討し合う。
  - 自分の考える「ゆめのロボット」の説明文を書く。

**学習内容の系統と各学年に見られるつまずき**

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	町の未来をえがこう	資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。
第5学年	和の文化について調べよう	自分の考えを明確に伝えるために文章構成を考えているが、効果的ではない。
第4学年	わたしたちの生活とロボットについて考えよう	様々な角度から考え、内容を整理して書くことや接続語や指示語、文末表現を効果的に使って書くことができない。
第3学年	要約名人になってもうどう犬リーフレットを作ろう	中心となる言葉や文を見つけて要約することができず、長い文を書き写してしまう。
第2学年	どうぶつのひみつをみんなでさがろう	見つけた大事な言葉を使って、順序よく書きまとめたり、不要な言葉を省いたりすることができていない。
第1学年	サラダでげんきおしゃべりレシピをつくろう!	大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

**単元末の目指す姿**

- 様々な角度から物事を考え、内容を項目ごとに整理して書くことができる。
- 接続語や指示語、文末表現の役割を理解し、文章構成を考えながら内容を読むことができる。また、それらを効果的に使いながら自分の考えを書きまとめることができる。

### つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

視点ごとに色分けして線を引き、多面的な文章構成の工夫に気付かせ、自分の作文にもいかすことができるようにする。

活動のねらい ▶ 本文の具体例を参考にして自分の考えを整理し、様々な角度から文章を構成できるようにする。

### 5つの視点を整理するワークシート

ここがポイント

本文の具体例の内容を5つの視点で整理し、ワークシート上部に配置。それらを参考にしながら書かせることで、自分の「ゆめのロボット」についても様々な角度から考えを整理できるようにする。

F	E	D	C	B	A
作った人の願い	使う人の願い	可能性	どんな人が活用するか	どんなことに役立つか	名前
自分の体を自分で動かしたいという人の気持ちにこたえたい	自分の体を自分で動かしたい	ねたきりの人が少なくなる 動けない人が自分で歩けるようになる	工場や倉庫で働く人 病気がけがで体を動かせなくなった人 介護するしきって働く人	重いものを持ち上げる 体の不自由な人の歩行を助ける	マッスルスーツ アクティブ歩行器
ゴッドハンド手脚が弱くても手足を自由に動かしたいという気持ちにこたえたい	ゴッドハンド手脚が弱くても手足を自由に動かしたい	歩けなかつた人が歩けるようになる	体の不自由な人 自分で自分の体がうまく動かさない人	手が足のきん肉が弱い人が物をつかんだりする	ゴットハンド 手の弱くろつ下

☆自分の「ゆめのロボット」について、表に整理しましょう。

### （期待される児童の姿）

ロボットの「働き」「活用」「可能性」「考え・願い」と項目を分けて書くことで内容を整理し、自分の考えを明確にして書くことができる。

### つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

### ★対話的な学びにつながる実践

視点のつなぎ方等についてインタビュー形式で検討し合いながらワークシートに書きまとめる活動を行う。

活動のねらい ▶ 項目別に書くことで文章構成を意識して書きまとめることができる。また、インタビュー形式にすることで、自分の意図や考えを伝える必然性をもたせる。

ここがポイント

検討し合うことで、相手に意図が伝わっているのかを確認、校正することができる。また、順接、逆説、換言、例示等の様々な接続語や指示語の使い方を理解し、より適切な言葉を選ぶ力が育つ。

### ワークシート②

私の考えたゆめのロボットは、足の不具合が気やけがない	このロボットは、足の不具合が気やけがない	歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない	歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない	歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない
歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない	歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない	歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない	歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない
訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない	歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない	歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない	歩行器は、足の不具合が気やけがない	訓練士は、足の不具合が気やけがない	機械は、足の不具合が気やけがない

接続語や指示語、文末表現を効果的に使って

### （期待される児童の姿）

項目別に整理した内容をどうつなげるといいかを検討し合うことで、効果的な接続語や指示語、文末表現の使い方が明確になるなど、対話的な学びにつなげることができる。

**第5学年**

**書くこと②**

自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考え書きまとめること

**つまずきの実態**  
～こんな児童の姿が見られませんか？～

自分の考えを明確に伝えるために文章構成を考えているが、効果的ではない。

はじめと終わりの意図していることが異なっている。

わたしは人と防災センターに行つて学んだことを伝えます。一つ目は、地震のことについて語つてくださった方がいました。地震が起きた直後は家の中がミキサーに回されたようにぐちゃぐちゃになつていさそうです。皿も下に落ち割れてしまつていたそうです。これを生かして防災について四年生に伝えたいと思います。

「一つ目は」と使っているが、「二つ目は」と続きを書くことができない。

**実践の概要**

単元名 **和の文化について調べよう**  
『和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる』東京書籍

- 目標 効果的な文章の構成を考え、事柄が明確に伝わるように説明文を書きまとめる。
- 内容
- 「和の文化を受けつぐ」を読み、筆者の考えと和の文化を調べる観点を読み取る。
  - 説明文を書くための構成図を作る。
  - 説明文を書く。
  - 読み合い、校正する。

**学習内容の系統と各学年に見られるつまずき**

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	町の未来をえがこう	資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。
第5学年	和の文化について調べよう	自分の考えを明確に伝えるために文章構成を考えているが、効果的ではない。
第4学年	わたしたちの生活とロボットについて考えよう	様々な角度から考え、内容を整理して書くことや接続語や指示語、文末表現を効果的に使って書くことができない。
第3学年	要約名人になつてもうどう犬リリーフレットを作ろう	中心となる言葉や文を見つけて要約することができず、長い文を書き写してしまう。
第2学年	どうぶつのひみつをみんなでさぐる	見つけた大事な言葉を使って、順序よく書きまとめたり、不要な言葉を省いたりすることができていない。
第1学年	サラダでげんきおしゃべりレシピをつくろう!	大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

**単元末の目指す姿**

- 文章構成や筆者の書きぶりを手がかりに本文を読み、筆者の意見に迫ろうとするようになる。
- 調べたことを説明文として書く時に、効果的な文章構成や読者を意識した書きぶりができるようになる。

## つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

- 文章構成表を作り、問題提起文を明らかにしたり、接続語を書き込んだりさせる。
- 本文から読み取った効果的な説明の順序や表現方法も記入するよう指示する。

活動のねらい▶ 自作の説明文を書く際に、効果的な文章構成で、伝えたい要旨が明確に伝わる書き方で書くことができる。

### ここがポイント

【例を示す時：「一つ目は、二つ目は」「まず、次に」】、  
【話を展開させる時：「では」「一方で」】、【結論に導く時：「このように」】  
など、伝えたい内容に合った接続語の一覧表を用意し、児童がどの内容にどの接続語を使えば良いのか考えられるようにする。

### （期待される児童の姿）

話題提示文や接続語、代名詞や文末表現を書き込む等、構成表を工夫することで、自分の考えを効果的に相手に伝えられるように説明文を書くことができるようになる。

## 文章構成がわかるワークシート

結論		本論						序論
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	
<p>このように和服の世界は知るほどに奥が深い。このように和服の世界は知るほどに奥が深い。このように和服の世界は知るほどに奥が深い。このように和服の世界は知るほどに奥が深い。このように和服の世界は知るほどに奥が深い。</p>	<p>また、一方、和服を作る職人がいなくなり、和服の文化は失われていく。一方、和服を作る職人がいなくなり、和服の文化は失われていく。一方、和服を作る職人がいなくなり、和服の文化は失われていく。</p>	<p>次に、他の文化との関わり。次に、他の文化との関わり。次に、他の文化との関わり。次に、他の文化との関わり。次に、他の文化との関わり。</p>	<p>一つ目は、まず、和服の歴史。一つ目は、まず、和服の歴史。一つ目は、まず、和服の歴史。一つ目は、まず、和服の歴史。一つ目は、まず、和服の歴史。</p>	<p>二つ目は、和服の文化の重要性。二つ目は、和服の文化の重要性。二つ目は、和服の文化の重要性。二つ目は、和服の文化の重要性。二つ目は、和服の文化の重要性。</p>	<p>三つ目は、和服の文化の継承。三つ目は、和服の文化の継承。三つ目は、和服の文化の継承。三つ目は、和服の文化の継承。三つ目は、和服の文化の継承。</p>	<p>四つ目は、和服の文化の発展。四つ目は、和服の文化の発展。四つ目は、和服の文化の発展。四つ目は、和服の文化の発展。四つ目は、和服の文化の発展。</p>	<p>和服のしづか。現在わたしたちは夏祭りに着たりするほかにもその一つで、和服とはドレスやコートなどとはちがいで日本を伝統的に着られてきた服のことです。</p>	

## つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

自作した説明文を友達と読み合い、アドバイスをいかして校正する活動を取り入れる。

活動のねらい▶ 多様な考えに触れ、より伝わりやすい言葉や書きぶりに気付くことができるようにする。

### ここがポイント

事前に、以下の例文について、全体で比較させながら話し合わせることで、「こんな場合には、こんなアドバイスをすればよい」という視点をもたせる。

- 正しい接続語が使われている文と、そうでない文
- 段落につながりがある文と、そうでない文 等

### 授業の様子

「また」よりも「一方」と書いた方が、より自分の意見を印象付けられるよ。



要旨の所は、指示語を使わず、文末を強調して書くといいよ。



### （期待される児童の姿）

各自が書いた説明文を持ち寄り、文章構成や書きぶりについてアドバイスし合うことで、多様な考えに触れ、文を見直す機会となる。

適切な資料を引用し、文章の構成を工夫して自分の考えを書くこと

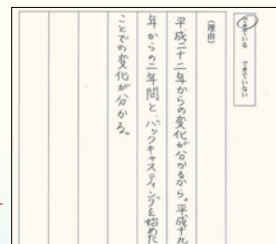
つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。

	島内	島外	総数
平成19年	31	2	33
平成20年	26	2	28
平成21年	31	2	33
平成22年	26	8	34
平成23年	27	13	40

[発問]  
この資料の引用が本文の要旨を説明するのに適しているか。



実践の概要

単元名

町の未来をえがこう

『町の幸福論-コミュニティデザインを考える』東京書籍

目標 本文の内容と提示された資料が適切かどうかを考え、教材文の写真に込められた筆者の意図を読み取り、自分の考えが伝わるように書きまとめることができる。

- 内容
- ・「町の幸福論」の文章構成の工夫や資料の適切さを読み取る。
  - ・資料を集め、必要な情報を用いて、「加古川町」の未来について自分の考えが伝わるように書く。
  - ・町づくりについてプレゼンテーションを行い、交流・検討し合う。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学年	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	町の未来をえがこう	資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。
第5学年	和の文化について調べよう	自分の考えを明確に伝えるために文章構成を考えているが、効果的ではない。
第4学年	わたしたちの生活とロボットについて考えよう	様々な角度から考え、内容を整理して書くことや接続語や指示語、文末表現を効果的に使って書くことができない。
第3学年	要約名人になってもうどう犬リフレットを作ろう	中心となる言葉や文を見つけて要約することができず、長い文を書き写してしまう。
第2学年	どうぶつのひみつをみんなでさがろう	見つけた大事な言葉を使って、順序よく書きまとめたり、不要な言葉を省いたりすることができていない。
第1学年	サラダでげんきおしゃべりレシピをつくろう!	大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

単元末の目指す姿

- ・資料を引用する際に、自分の伝えたい内容を説明するのに適切かどうかを考えるようになる。
- ・文章を書くときに、効果的な構成になっているかを意識して書くようになる。



### つまづき解消に向けた指導の工夫

本文に基づいて、示された資料が適切かどうかを考え、その理由を書きまとめる活動を取り入れる。

活動のねらい▶ 提示された資料が、本文の要旨や筆者の考えを裏付ける根拠になっているのか考えることができる。

ここがポイント

適切な資料を引用する力を付けるために、あえて適切とはいえない写真資料を用意し、それがなぜ適切でないかを考えさせたり、筆者が引用した写真資料とは何が違うのかを考えさせたりする。また、その理由について発表するにあたって、相手を説得するために、より効果的な構成を考え、説明的な文章で書きまとめる学習を行う。自分の考えを「書き言葉」で整理することで論理的な思考力を養うことができる。

### 授業の様子

教師が用意した資料



島根県の離島にある海士町①

本文の資料



島根県の離島にある海士町②

（筆者の意図）この写真には、美しい自然と、港と、人がたくさん集まる建物がある。美しい自然があり、港にフェリーでたいてくる「町民の未来のイメージ」が叶う場所だと思います。そのわけは、美しい自然があり、港にフェリーでたいてくる人が来て、この写真に写っている建物に集まるからです。また、ここは、島の人も集まり、いろいろな人たちが交流できる場所だからです。

③資料から読み取った内容

②本文の内容に戻る（筆者の意図）

①自分の考え

（期待される児童の姿）  
「資料」「本文」「自分の考え」と3つの構成で効果的な文章を書くことができるようになる。